

相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL(0791)23-0800



HPのQRコード

46回生 「わがまちのSDGs」 講演会

10月4日(火)7限と5日(水)6限、46回生が総合的な探究の時間で取り組む「わがまちのSDGs」に関する講演を、地元で活動されている二人の講師にいただきました。

4日(火)は「オオのナンデモ屋」渡部政弘氏に、高齢化の著しい相生(おお)でのナンデモ屋としての活動やコミュニティカフェ兼レンタルスペース「相生ベース」開設のいきさつ、空き家管理・外国人夫婦の移住の手伝い、龍山公園復活プロジェクト、船人間コンテストなど様々な取り組みを、画像を交えながらユーモラスに語っていただきました。SDGsの目標である「働きがいも経済成長も」・「つく



る責任つかう責任」・「住み続けられるまちづくりを」・「すべての人に健康と福祉を」など多くのテーマに関連する内容で、これから探究活動を始める生徒たちに大いに刺激を与えていただきました。

5日(水)は相生湾自然再生学習会議代表の松村晋策氏に「海の豊かさを守ろう」という演題で講演していただきました。播磨灘の海域環境変化と現状の問題点、天然記念物「シバナ」の保護・保全の取り組み、相生湾に藻場(アマモ場)づくりの取り組み、世界の海につながっているゴミ問題など、生徒にとって身近で興味のある内容を詳しい資料をもとに講演していただきました。講演後の質疑応答では高校生の視点から本質を突く質問が出され、松村氏には真摯に答えていただきました。生徒からは具体的な取り組みをもっと聞きたいという声が多くありました。



お二人とも教室では学べない多くの知識と経験、そして何よりも情熱を持っておられ、高校生の心に熱く語りかけていただきました。講演会で終わることなく、今後の探究活動の中で生徒への助言、提

言をしていただきました。いと考えています。渡部政弘氏、松村晋策氏に心から感謝いたします。ありがとうございました。



車椅子体験講習会

10月26日(水)秋晴れの放課後、相生市社会福祉協議会から6名、「あいおい外出介助ボランティアグループ」より7名の方々をお招きし、29回目の車椅子体験講習会を実施しました。

相高からは、生徒会執行部、1・2年保健委員・ホームルーム委員の55名が参加しました。

車椅子の介助方法・具体的なサポート方法を記した冊子を先に配布し、参加した生徒自身も予習して臨みましたが、実際に操作や介助をする側になると、車椅子の大変さや不自由さを体感し、少しは車椅子の方の立場に立つて考えられるようになりました。校内だけのことで



段差の上がり下がり、指導を受け実践中。



坂道は特に危ないので、注意しながら気を付けて。



最初に、車椅子の基礎基本から説明です。



開会式

はなく、校外では車椅子の人に対する声掛けやサポートの重要さが体験できた、大変有意義な車椅子体験講習会となりました。



車椅子リフト車と車椅子専用車の乗降体験。



閉会式。ありがとうございました！

さわやか挨拶運動

10月28日(金)、秋晴れの素晴らしい天気の中、相生駅北側ロータリーでは相生高校生徒会が、相生駅南側では1年5組が「さわやか挨拶運動」を実施しました。

いつものように早朝より集まった生徒たちにより、挨拶運動前のゴミ拾いが行われました。今回は前回より一か月以上空いたため、たばこの吸い殻はいつもより多かったです。月一回程度ですが、自分たちの街の美化に少しでも貢献で



曇一つない朝日が輝く中、北側では生徒会が、駅南では1-5が頑張りました。



今日はタバコの吸い殻と雑草が中心でした！

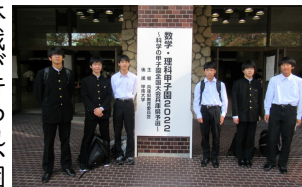


生徒会執行部によるゴミ拾い。

数学・理科甲子園

きることは誇りに思います。素晴らしい天気の中、早朝から、相高生徒会と一年生の元気で大きな挨拶の声が響き渡る「さわやか挨拶運動」でした。

10月29日(土)甲南大学にて数学理科甲子園2022が開催され、本校から2年生の6名が参加しました。午前中の予選競技では個人戦と団体戦が行われ、個人戦は3名がそれぞれ数学と理科の問題を解き、団体戦では3人組で数学と理科の応用問題に取り組みました。結果は出場55校中、20位となり惜しくも午後からの本選への進出はなりませんでしたが、しかし参加した生徒たちは、「難しい問題であったが、興味深い問題ばかりで、理系分野への好奇心が高まった」「チームで協力して問題に挑戦したことで、問題解決のためにコミュニケーションをとることの大切さを学ぶことができた」という感想を持ち、これからの高校生活につながる経験が積まれました。



会場の様子